

第8回 宇陀市子ども・子育て会議 会議録

開催日時	平成28年4月2日(土)午前9時30分～
開催場所	宇陀市市役所 大会議室

○子ども・子育て会議開催

(1)開会	
(2)会長挨拶	<p>上野会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新年度早々の参集に感謝申し上げる。 ・子ども子育て会議においても、安全で安心して子育てできる宇陀市となるように取り組んでいきたい。
(3)議事案件	<ul style="list-style-type: none"> ・宇陀市子ども・子育て支援事業計画における平成27年度の見込に対する実績及び状況について ・平成28年度教育・保育施設の入所状況について <p>事務局より説明を行った</p>
質疑・意見	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・病気の際、他市の病院を利用される方も多いと聞いているが、安心して子育てできる環境を作るには、近くに頼れる医療機関があることが重要である。そのために、市立病院の充実を図る必要があるのではないか。 ・労働環境が多様化する中で土日が休みでないなど、働きながら子育てする世帯のニーズに応える環境を整える必要があるのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市立病院については、2年前から常勤の小児科医師を配置し、毎年利用実績が増加していますが、夜間対応等を含め、大学等と連携しさらなる充実に努めています。 ・今年4月から市立病院小児科医によるこどもの発達相談を開設したところです。言葉・体・行動など、こどもの生活で気になることがあれば利用していただきたいと思います。(毎週木曜日・予約制) ・様々な労働形態への対応としての、土曜保育については、ニーズを適正に把握し、応え得る環境をさらに充実させるよう努めます。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、幼稚園要件のニーズ量が減少し、保育ニーズが増加していることについての背景や状況について、お聞かせ頂きたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・背景として、若い世代の家庭が、共働きしないと生活できないという現状があるのではないかと考えます。しかしながら、保育内容の質としては、教育・保育の面では変わりはないと思います。また、幼稚園でも預かり保育として午後4時まで利用できます。 ・幼稚園は夏休み期間があるため、短時間でも就労されておられる保護者の方は、どうしても保育所を選択されるため、保育所のニーズが増加するものと思われます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・保育要件では、地域を越えて施設を利用される方も居られるが、卒園後の小学校入学などを考えると、できるだけ地域内の施設を利用した方が良いのではないかと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・保育要件では、どの地域の施設でも利用できますが、幼稚園要件では、園区制を設けているため、地域の幼稚園又はこども園に通園して頂くこととなります。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・多子世帯の保育料の軽減について、説明頂きたい。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園要件では、市民税所得割額が、77,101円以下の世帯について、これまで小学校3年生までの子を第一子として、該当児童が何人目であるかにより保育料算出していたものを、28年度からは、第一子の年齢要件が撤廃されます。 ・保育所要件では、市民税所得割額が、57,700円未満の世帯について、これまでは、就学前の子を第一子とされていた年齢要件が撤廃されます。
委員	<p>菟田野こども園の建設について、新しい園の開設するのは良いことと思うが、一方で現実に児童数が減少中、計画的な施設の統廃合など、具体的な筋書きはあるのか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・合併当時約38,400人であった宇陀市の人口は、最新の国勢調査では31,117人に。また、出生数については、5年前は165人であったのに対し、昨年は130人に減少しています。しかしながら、地域の意向を踏まえつつ、財政的に有利な方法で、地域の実情に応じた整備を進めることは必要と考えます。 ・計画の進め方について、菟田野保育所の老朽化は、合併時の新市まちづくり計画にうたわれていた内容です。 ・その他、子どもを取り巻く環境について、必要なニーズに応えるため様々な施策を進めています。 ・発達障害、支援が必要な子どもに対応するため、平成22年度から、こあら教室を実施しており、予算面、職員配置面、及び発達相談に対応できる医師を配置するなど、病院との連携を図り、充実に努めているところです。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・昔は兄弟が多く、互いに刺激しながら育った。これからの時代も、保育所・幼稚園等で沢山の子どもが共に切磋琢磨しながら育ていくことが、子どもの将来の為には大切なことだと思う。 ・本日の課題を持ち帰り頂き、意見を集約され、次回の会議でご意見を出して頂きたい。
(4)閉会	